

特集日食報告

「世紀の日食」観測 — 皆さんからの報告 —

黒河宏企（NPO 法人花山星空ネットワーク）

はじめに

我が国で46年ぶりという7月22日の皆既日食を見ようと、多くの人が薩南諸島に集まりましたが、この時期としてはきわめて異常な梅雨前線の南下が重なってしまいました。それでも、「天から降りてくるあの急激な暗闇」には誰も驚き、宇宙の神秘を体感することができました。太陽コロナが見られず非常に残念でしたが、「天の岩戸にお隠れになっていた天照大神さまが、表の騒ぎを聞かれ、ちょっと岩戸を開けられたことで明るさが戻った光景は、かくありなんと思われる有様でした。こういう体験こそ、この皆既日食の場においてこそ味わえることです。」というようなメールを戴いたり、あるご婦人からは「この皆既日食に出会ったことは、主人に出会ったことに次いで2番目に嬉しかった」という感動的なことばも聞かせて頂くなど、多くの方々から感激のことばを戴いたのは不幸中の幸いでした。日本列島のほとんども雲に邪魔されましたが、あちこちで三日月のように欠けた太陽を楽しまれた方も多かったようです。色々な所で色々な楽しみ方をされた結果がこの特集号の中に紹介されていますが、私の方に送って戴いた写真や絵を以下に紹介させていただきます。

(1) 私の日食観測 長谷川壽美さんから

放送大学の特別講義で、黒河先生の日食のご講義を拝聴するたびに、皆既日食の観測に行ける方々をうらやましく思って居りました。持ち前の負けん気を出して、それでは京都で少しでも観測しようと思いました。生憎の曇り空でしたが、時折太陽が雲の間から顔を出し、小さいスケッチ用の椅子と、NPOから購入した「日食めがね」を用意しました。始まりとピークと終わりの時間は前もって教えてもらいましたので、自宅前の三条通に坐って観測を始めました。子供の時にすすを塗ったガラスから見たのは見たという記憶だけでしたが、今回は欠けているのがはっきり見えて——めがねのせいでもあるのですが——どんどん欠けていくのが印象的でした。雲の間から太陽が顔を出すたびにスケッチしましたが、戻りになるころは雲が出たきりで終わりになりました。しかし、うす雲がフィルター代わりになって、肉眼で細い三日月形のプラチナ色の太陽が見られたのは幸いでした。

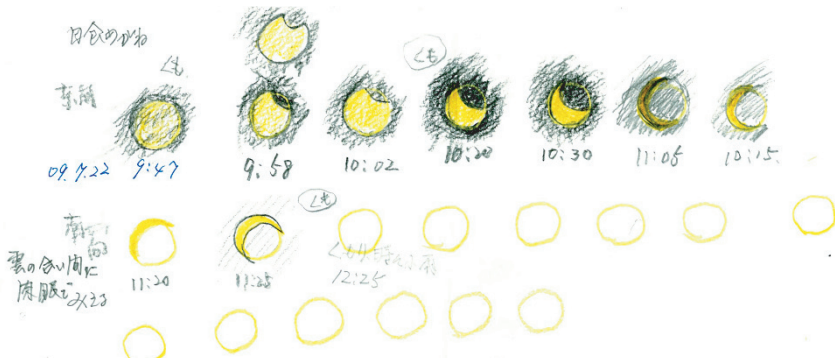


図1. 長谷川さんのスケッチ。前半は日食めがねを通して東向きに、後半は南向きに雲のフィルターを通して。

(2) 奄美大島笠利中学校での観測

奄美大島北端に近い奄美市立笠利中学校には、NPO 花山星空観測隊の61名が地域の子ども達と一緒に観測しました。残念ながら太陽コロナを見ることは出来ませんでしたが、太陽がスーッと消えて、「急激に、暗闇が真上から降りてくる」神秘的な4分間を、参加者の皆さんと一緒に体感できました。20日に伊丹空港を発った時からずっと、読売テレビから密着取材を受けましたが、この様子が23日夕方の読売テレビニュースで放映されました。以下のURLで見ることができます。

<http://www.ytv.co.jp/ten/sp/bn/0907/asx/sp090723.asx>



図2. ソーラープロジェクターによる部分食の観測と読売テレビの取材風景（奥村勲さん撮影）



図3. 笠利中学校での皆既の空（高木淳子さん撮影）

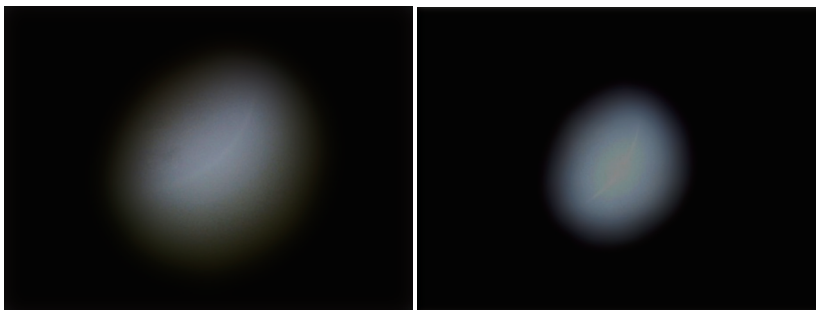


図 4. 笠利中学校での皆既直前の太陽（左）10時50分
（右）10時53分 （高木淳子さん撮影）

(3) 中国での観測

上海市に行かれた多くの方々は、無情の雨に涙を呑まれたようですが、そこから少し足を伸ばされた数名の方々から幸運のご報告を戴きました。

(イ) 杭州天荒坪ダムにて、阿南徹さんから

持って行った太陽プロジェクターが現地でもとても人気になりました。たくさんの人たちが足を止め見たり、質問をして下さいましたし、ある外国の方には「イチバン!!」と褒めていただきました。



図 5. 杭州でのコロナとソーラープロジェクター
による部分食の投影（阿南徹さん提供）

図 6. 武漢でのコロナ
（坂田さん撮影）

(ロ) 武漢にて 坂田さんから

中国の武漢に行ってきました。残念ながら、かなり雲が多い中での日食となりましたが、皆既になった時は、コロナが見られました。初めての皆既日食体験でしたが、辺りが急に暗くなってゆくの印象的でした。

(ハ) 杭州市西湖区のホテルにて 蔦本実澄さんから

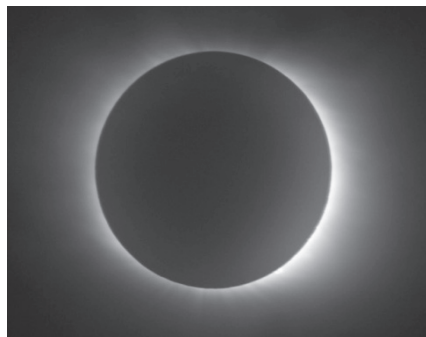


図 7. (左) 杭州でのコロナと紅炎 (蔦本さん撮影) 右はホテルの中庭で観測したので、ホテルのホームページで紹介された観測中の蔦本さん



(二) 湖州市にて 西村有二さんから

私は中国、湖州市の南で中心線、工場敷地を借りてみました。朝から絶望的で見える確率0%。それでもホテルを出て雨の無いところで風景でもと思っていましたが奇跡がおき、1時間前雨、皆既前後太陽が見えました。1時間後には再び雨。

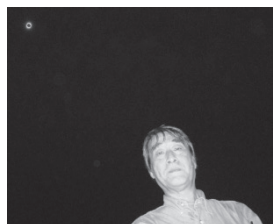


図 8. (右) コロナをバックに幸運の西村さん

図 9. (下) 湖州市でのコロナ (西村さんに同行した岡本さん撮影)

